

【今週の注目疾患】

インフルエンザ

2015年3週の県全体の定点当たり患者報告数は、2週の32.71から増加し34.35となった。依然、報告数が多い状態が継続しており、今後の流行状況に注意が必要である。

千葉県健康福祉部疾病対策課 インフルエンザについて

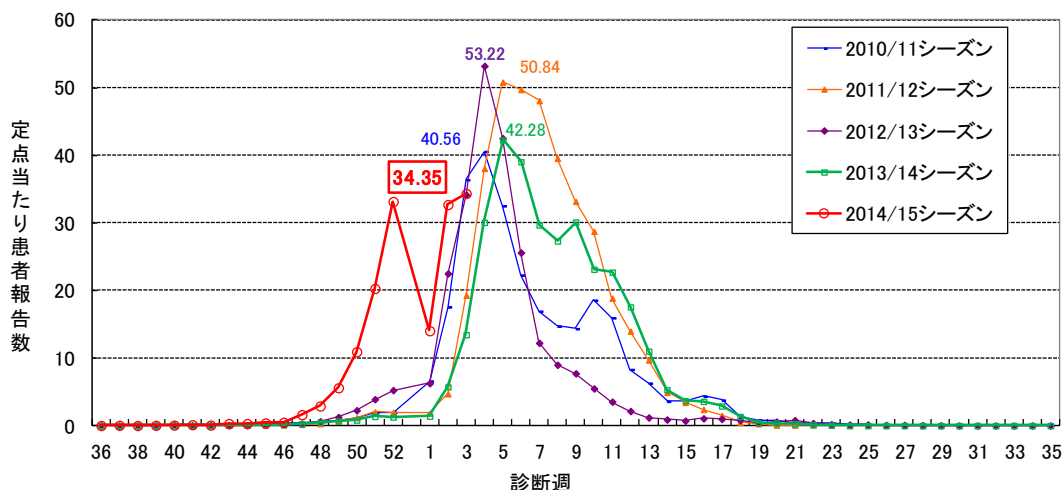
URL: <http://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/index.html>

保健所別の定点当たり患者報告数は、16保健所中11保健所管内で警報レベルの30を超えている。30を超えた保健所は、海匝(70.29)、君津(46.77)、夷隅(41.60)、印旛(41.17)、松戸(39.80)、山武(38.00)、船橋市(36.00)、長生(32.57)、香取(32.50)、習志野(31.50)、市原(30.09)だった。

2015年3週の年齢群別報告割合は、5～9歳27.8%、0～4歳17.6%、10～14歳17.4%が多く、2014/15シーズン全体では、5～9歳25.9%、10～14歳19.6%、0～4歳14.4%となった。

2015年3週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、6,753例中A型6,568例(97.3%)、B型126例(1.9%)、A and B型2例(0.0%)、A or B型57例(0.8%)だった。2014/15シーズン合計では、30,490例中A型29,772例(97.7%)、B型451例(1.5%)、A and B型7例(0.0%)、A or B型260例(0.9%)だった。

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり患者報告数



インフルエンザ

